

Title	永田安吉氏蒐集安南本目録
Sub Title	
Author	岩井, 大慧(Iwai, Hirosato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1935
Jtitle	史学 Vol.14, No.2 (1935. 8) ,p.101(283)- 109(291)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19350800-0101

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

永田安吉氏蒐集安南本目錄

岩井大慧

東亞の地圖を披見するものは、誰れでも氣付くことであらう。支那大陸を中心として、左右兩翼に、安南（今の印度支那）と朝鮮とが、並存してゐることであるが、この支那本部を挾んで、東西に位してゐることは、やがて歴史的に見ても、また文化的に見ても、一つの面白い對稱をなしてゐることとなる。有史以來、所謂中國に發達した燦然たる支那文化の放射が、東して朝鮮に、西（嚴格には西南）して安南に遍照されたものである。今日その迹を尋ね得るものは、必ずしも尠しとしない。同一漢字が、安南音と朝鮮音とに、箇々二様の音を遺存してゐるなども、そのよき例證の一

つであらう。而して兩國に於いて、それぞれ編著された文籍も、各々箇々獨特の發達を遂げてゐることなども、注意すべき文化現象と言はねばなるまい。例へば、その板式にせよ、木活にせよ、紙質及び大きさにせよ、裝釘にせよ、それぞれ朝鮮は朝鮮、安南は安南で、特殊な發展を遂げてゐた。東洋史學の分野に於いて、朝鮮本、安南本が、獨自の位置を占むることは、今更自分が事新らしく述べる迄もあるまい。ところが、皮肉にも、この兩文獻ともに、數奇な運命に弄ばれて、漸次佚亡の淵に沈みつつあるのである。今にしてこれが蒐集を行はなければ、後日臍を嚙むでも及ばぬこと

とならう。

自分の關係してゐる東洋文庫に於ては、この見地から、兩國典籍の收架に留意し、大に努力はしてゐるが、中々さう容易に手に入るものではない。然るところ、往年、(大正十三年)、元京城駐劄帝國朝鮮公使館通譯官前間恭作氏が、その在任中、收得された朝鮮本、四四二部一七六一冊を、古地圖及び拓本と共に、東洋文庫に寄贈されたことがある。後また文學博士吉田東伍氏の蒐書を讓受け、漸進的ではあるが、以て排架を豊にしてゐる。然るに、安南本に至つては、僅少の和刻本と、歐西人の翻譯に附刊覆刻された三四を藏してゐる外、何物も有つてゐなかつたのである。ところが、昨年八月、慶應義塾大學教授、畏友松本信廣君の斡旋により、前印度支那河内駐在帝國總領事永田安吉氏(現外務省調査課長)より、安南本九二部五五〇冊の寄贈を受けた。同氏はその在任中、任

地の風俗、習慣、地理、歴史、法律等に興味を持たれ、その研究史料として、安南本の重要なるに著眼された。該地の風土の關係上と、佛國政府の或政策上とから、漸次この貴重文籍の喪失しつつあるを目撃された同氏は、痛くこれを慨嘆され、私財を投じてこれが買収に著手され、多大の辛勞と努力とを重ねて、蒐め得たものであつた。氏が歸朝後、この蒐書の最も有效に且つ安全に、活用されるるところあらば、とて選ばれたのが、我が東洋文庫であつた。氏のこの美舉に對しては、吾々は、滿腔の感謝と、多大の敬意とを表はさねばならぬ。この壯舉は、常に文庫の欣びであるのみならず、近時漸く擡頭しつつある越南研究の學徒にとりても、垂涎おく能はざるものであるに相違ない。繁忙なる外交官の任にあつて、而もなほ忙中閑を作つて、その任地の文化研究に著眼せられし、同氏の好學心に對しても、吾々は絶大の贊辭

を捧げねばならぬ。先きの前間氏にしても、今次の永田氏にしても、我が國外交官中にあつては、稀に見る篤學の士と言はねばならぬ。

本誌の第拾參卷第四號(昭和九年十二月)に、既に松本君が河内極東學院所藏の安南本目錄を掲載されてゐることは、讀者の周く知るところである。吾々文獻を取扱ふ者は、爲に大にその餘慶を蒙つてゐる。文庫が贈られた永田氏の蒐書は、恐らく、現在に於いては、我が國唯一の安南本コレクションであらうと考へられるがゆゑに、本誌を通じてその目を傳へ、以て松本君の目錄と、對照上の便宜にもと考へ、請はるるままに、拙稿を敢て送ることとしたのである。尤もこの蒐書のごとは、既に同學

の先輩石田學士が、昨年一月「史學雜誌」に、ほんの一部分ではあるが、紹介され、中に就いて、その裝潢様式の宋本その儘のものあり、今日支那本土に於いてさへ、その形跡を絶つてゐると言はるる装釘上の見本として、興味深きものあることにも言及されてゐるから、その方面に興味をお有ちの方は、ついて見られ度い。

先きに東方、朝鮮文獻蒐書の寄贈があり、今また西方、安南典籍蒐書の惠贈があつた。かくて、支那本部のそのの充實と相待つて、愈々我が國東洋學研究の上に、貴重なる材料の收輯されて行くことを喜ぶと共に、今後能ふ限りの努力を以て、これが補充をはかり、同氏の好意に酬いなければならぬ。

永田安吉氏蒐集安南書受贈目錄

(昭和九年八月十三日)

- 一、欽定越史通鑑綱目 前編三冊
正編十八冊 計廿一冊
- 二、越藍小史 (別名春秋) 黎謹序 維新二戊申年(一九〇八年) 三冊
- 三、大越史約 黃道成志 (上黑)
(下黃) 上下二冊
- 四、越史賸評 一卷 阮德著 成泰丙午十八年(一九〇六年) 一冊
- 五、中學越史撮要 吳中豆著 維新五年(一九一一年) 春夏秋冬四冊
- 六、國朝史撮要 高春育著 維新戊申二年(一九〇八年) 七冊
- 七、大南寔錄 正編 一冊
- 八、大南正編列傳初集 (寫本) [小形] 五冊
卷一—七、八—一三、一四—一八、一九—廿一、廿二—
廿七、存(不完)
- 九、大南正編列傳初集 [大形] 五冊
卷三—六、一〇—一三、一八—廿一、三〇、三三 存(不完)
[廿八、廿九、卅一、卅二缺]
- 一〇、越嶠書 (永田氏ガ謄寫セシメシモノ) (寫本) 十八冊
- 一一、黎季紀事 (寫本) 一冊
- 一二、野史輯編 八卷 武文立著 (寫本) 八冊
嘉隆元年頃カ(一八〇一年頃?)
- 一三、越史節要 六卷 陳廷暈序 維新二戊申年(一九〇八年) 卷一、四存、(不完) 二冊
- 一四、大南國史演歌 不分卷 一冊
- 一五、洪德版圖 (寫) [大形] 一冊
極東學院所藏本ヲ永田氏ガ謄寫セシメシモノ、永田氏朱書
書入アリ。
- 一六、大越地輿全編 五卷 (別名方亭輯地志類) 五冊
成泰甲子十二年(一九〇〇年)

三、又 四十六卷 (邦交誌) コノ餘九冊アリ

(六一八(ニツ)九一二(複)、一三一、一五、一六) 一、九、二、三、二五、三三、三五、四二、四五

六、芸臺類語 九卷 黎貴惇撰 (寫本) 三冊

景興三十八丁酉年(一七七七年)

元、又 (寫本) 破損 一、二、九、缺 三冊

三、四、五、六、七、八、存 (不完)

四、柳齋遺集 三冊

四、公暇記聞 二卷 (寫本) 上卷ノミ存 一冊

四、桑滄偶錄 二卷 范廷琥等編 (不完) 一冊

成泰丙申八年(一八九六年)

四、又 上卷存 一冊

四、舊編傳奇漫錄 四卷 阮嶼著 阮立夫編 類庵會本 二冊

永盛九年(一七一三年)

四、玉山經壇神化除災解難金冊 一冊

維新四庚戌年(一九一〇年)

四、壁神經 (寫本) 卷三存 一冊

四、御製越史總詠集 目錄一、本文一〇 十一冊

四、御製文初集 十四冊

四、同 二集 [卷一、十九、廿、廿一ヲ缺ク 不完] 十九冊

五、德 御製詩初集 目錄二、本文十五 十七冊

五、同 二集 目錄二、本文十五 十七冊

五、慈訓錄 四冊

五、御製越史總詠 上下 二冊

五、方亭文類 阮方亭著 卷一、二、三 二冊

五、方亭萬里集 一冊

五、方亭嚶言詩集 一ノ一、二 一冊

五、方亭詩類流覽 二ノ一 一冊

五、蔗園全集 二十六卷 阮小阜檢輯 九冊

成泰八年(一八九一年)一、二、三、四、五、六、七、缺 (不完)

五、倉山詩集 四十八卷 [小形] 袁璜 七冊

嗣德二五年壬申(一八七二年)

六、倉山文遺集 [大形] 前卜同年頃カ 一冊

六、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 (不完) 一冊

附朱謝軒遺文集

三、柴山詩錄 阮保撰

山房雜賦

柴山風景賦

附 傳統碑記

捐助啓文

山寺聯錄

景統三庚申年（一五〇〇年）〔復刻〕

三、萬里行吟 裴文禩著

嗣德卅一年（一八七八年）

四、黎朝鄉選

嗣德乙亥二十八年（一八七五年）

五、青邱高季迪先生詩集 十四卷（寫本）

金檀星輯注

六、諒城紀勝（寫本）

六、武東暘文集（寫本）

六、皇越文選

六、皇越歷科詩賦

七、皇朝羣臣慶賀集（寫本）

一冊

七、鄉試文選（破損）

成泰三年辛卯（一八九一年）

一冊

七、詩奏令編 審慎明編輯

成泰十六年（一九〇四年）

一冊

三、欽定詠史賦

（不完）

十九冊

一冊

六冊

三—四、五—六、七—八、九—一〇、一一—一二、一七—一八、二—二二、二三—二四、二五—二六、二七—二八、三三—三四、三五—三六、三九—四〇、四—四二、四五—四六、四九—五〇、五一—五二、五三—五四、（複）

四冊

四、啓童說約 范復齋輯（表紙缺）

嗣德三四年辛巳（一八八一年）

一冊

一冊

五、御製丁丑元旦示臣工……（寫本）

六、征婦吟備錄 陳琨著

嗣德十五壬戌年（一八六二年）

一冊

一冊

七、宮怨吟

維新壬子六年（一九一二年）

合綴

一冊

六、無名本（不詳）（寫本）

一冊

一冊

六、大清律例會通新纂

一、二、五、六、十一、十四、十七、廿四、廿七、八、缺ナリ

(不完) 十一册

卷三 名例律上 一册

卷四 名例律下 二册

卷七 戶律 一册

卷八 田宅

卷九 婚姻 一册

卷十 倉庫

卷十五 禮律 一册

卷十六 祭禮 儀制

卷廿五 刑律 人命 二册

卷廿六 上 人命 閣殿下

卷廿九 受賊 詐僞 二册

卷卅一 犯姦 雜犯 一册

存

六、新刊補正少微通鑑節要大全 廿八卷

廿三册

嗣德三年(一八五〇年)長盛堂梓校

六、易經 一、四存

二册

六、禮記 二

一册

六、春秋 二

一册

四、四書引解

卷七 論語解二 一册

卷八 論語解二 一册

卷九 論語解三 一册

卷十 論語解四 一册

卷十一 論語解四 一册

卷十二 論語解五 一册

卷十三 論語解五 一册

卷十四 論語解五 一册

卷十五 孟子解一 一册

卷十六、七 孟子解二 一册

卷十八、九 孟子解二 一册

卷廿一、二 孟子解四 一册

卷廿三、四 孟子解四 一册

卷廿五 孟子解五 一册

卷廿六 孟子解五 一册

卷廿七、八 孟子解五 一册

卷廿八、九 孟子解五 一册

卷三十、四 孟子解五 一册

卷三十一、二 孟子解五 一册

一册

四册

一册

四册

一册

四册

一册

四册

一册

四册

一册

四册

一册

六册

一册

六册

一册

六册

一册

六册

一册

六册

卷九
卷十
卷十(複)(十一缺)
卷十二
卷十三、四
卷十五
卷十六—七
卷十八

七、孔子家語 卷三、四存

八、康熙字典 丑上、巳下、午上、未上、申上、酉上下、缺

九、性理大全 第一—三、五、八—一〇、一三—二四存

一册 七册
一册
一册
一册

一册
二〇册存
十九册

九〇、四六法海 卷三一—六 (共に異板) 存 九册

九一、御纂醫宗全鑑 卷五存 一册

九二、策學纂要 卷一〇—一六存 一册

(因ニ言フ特ニ註記ナキハ刊本ヲ意味ス。七九番以後ハ漢籍ノ安南複製板ト覺シキモノヲ探レリ、コノ種ノモノ尙ホ十數種存スレドモ、的確ナラザレバ今ハコレヲ略セリ。後日研究ノ結果補正ヲ要スベキモノアルヲ信ズ)